

横浜植物防疫協会からのお知らせ

各 位

横浜植物防疫協会

045-201-2378

お知らせ第16号を送信します。

【横浜・川崎港における植物の輸入状況(平成31年1月～令和元年12月、横浜植物協会扱い)】

横浜・川崎港における植物検査対象植物の輸入状況(平成31年1月～令和元年12月、横浜植物防疫協会扱い)の概要を、以下のとおり取り纏めたのでお知らせします。

1. **輸入数量**：横浜・川崎港における植物検査対象植物（コンテナ詰・在来船積）の輸入数量は、栽植用植物、球根類及び切花類の総数が 98,902 千個(前年比 108.0%)、栽植用種子、生果実類、野菜類、穀類、豆類、油料類、嗜好香辛料類及び乾牧草・飼料類等の総数が 3,796 千トン（前年比 103.7%）、木材は 93 m³(前年比 49.1%) であった。
2. **輸入コンテナ本数**： 72,731 van（前年比 110.5%）で、昨年より 6,937van 増加した。内訳は 20F が 29,384van（前年比 104.3%）、40F が 43,347van（前年比 115.2%）で、20F コンテナは 1,206van 増加、40F コンテナは 5,731van 増加した。
3. **栽植用植物**：46van、263 千個（前年比 255.7%）で、ラン苗、ユッカ苗の輸入が増加した。
4. **栽植用球根類**：168van、35,652 千個（前年比 103.1%）で、ユリの輸入が増加したが、チューリップ、グラジオラス、ヒヤシンス等の輸入が減少した。
5. **栽植用種子**：380van、5,196 トン（前年比 114.9%）で、野菜・牧草類種子の輸入が増加した。
6. **切花・切葉・切枝**：295van、62,987 千個（前年比 110.7%）で、コロンビア・エクアドル産カーネーション、メキシコ産ルスクス、ルモーラ、マレーシア産キクの輸入が増加した。
7. **果 実**：12,901van、489 千トン（前年比 114.2%）で、オレンジ、グレープフルーツ、レモン等のカンキツ類、ブドウ、アボカド、バナナ、パイナップルの輸入が増加したが、キーウイフルーツの輸入は減少した。
8. **野 菜**：4,920van、91 千トン（前年比 100.7%）で、カボチャ、ナガネギ、ブロッコリーの輸入が増加したが、キャベツ、ハクサイ、セロリ、レタス、ゴボウ、ニンジン、タマネギ、ニンニク、メロン等の輸入は減少した。
9. **穀 類**：8,859van、1,258 千トン（前年比 107.2%）で、オオムギ、トウモロコシ、モルトの輸入が増加したが、コメ、コムギ、ソバの輸入は減少した。
10. **豆 類**：14,106van、776 千トン（前年比 102.6%）で、アズキ、インゲン、エンドウ、

ダイズの輸入が増加したが、ラッカセイ、ヤエナリの輸入は減少した。

11. 嗜好香辛料・乾果・葉染料等：14,416van、281千トン（前年比107.7%）で、コーヒー、アーモンドの輸入が増加したが、カカオ、クリ、クルミ、ポップコーンの輸入は減少した。
12. 油料・肥飼料等：16,635 van、896千トン（前年比94.7%）で、ゴマ、乾牧草、ヘイキューブ、ムギワラの輸入が増加したが、ナタネ、ビートパルプペレット、ピートモス・ココピート等の園芸資材、ヤシ殻・木質ペレットの輸入が減少した。
13. 輸入木材：5van、93 m³（前年比49.1%）で、前年より大幅に減少した。

以上